

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	63%	38%	・活動に合わせて、テーブルや部屋を分けて支援を行っている。	・利用者が20人超えるとスペースが狭い
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	・会社内で協力をして、人員募集を行っている。	・利用者が多い時は職員が足りていないと感じる ・適切でない時もあるのが現状。業務分擔が必要だと感じる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	対応できる部分は対応をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	毎日の掃除、喚起などを都度行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室の用意は難しいためパーティションなどで対応をしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	MTなどで実施をし周知、実践に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	MTなどで周知がきちんできています。保護者から得られた情報を支援につなげたりなどしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	MTでの意見の場などできちんと行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	88%	13%	HPなどに事業所における自己評価結果をアップし、都度意見があった場合には、MTを行い改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	研修などを行い確保できている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	13%	適切に公表ができています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に取り組むことができています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に取り組むことができています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	児童発達支援管理責任者を中心に取り組むことができています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	MTなどを通じ職員全員が確認できるようにしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	MTなどでの支援についての話し合いを行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員全体で話し合いを行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節ごとのイベントや日々の活動の見直しを行い、固定化しないよう心がけている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	状況に応じて対応している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分擔について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝業務開始前にMTを行い、情報共有を行っている。また、グループラインにてパート・アルバイトの方にも周知を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	帰宅前などに伝達事項がある時には、グループライン又は社員へ伝えてから退勤していただくようにしている。	・伝達漏れも稀に起こる為、すぐにグループラインへ連絡を入れて、周知を徹底していく。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録簿を準備し、モニタリングに生かせるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	担当する利用者のモニタリングを行いミーティングもやっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインに沿って行えるようにしている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	利用者に応じた対応や工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が主に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	関係機関との連携を高めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時や電話での随時連絡などは取れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	卒園した事業所などとは連携はできていないが保護者などから情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	事業所間の連携は取れている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	88%	13%	研修は案内を行い、希望があれば受講できる体制を整えている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	50%	50%	地域イベントに参加した際に交流の機会はあるが、その他に機会を設ける事が出来ていない。	地域イベント以外にも交流の機会を増やす事が出来るように活動を企画、実施していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	88%	13%	案内が来た場合参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や、面談等でお伝えを話している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	質問されたことには答えるようにしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に順に説明し理解と同意が得られている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援中や送迎時面談等に話を確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談等での説明を行い同意を得られている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談等送迎時に取り組むことができています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会の機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情窓口を設置しており迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	hugやsns等での連絡で通知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	施錠などは毎回確認をし行っている。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者と連携を取り環境面などからサポートを行い、よりよい支援ができるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域住民を招待する行事を実施できていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員、保護者等に周知を都度行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練等を行い実施している。 BCP委員会の研修なども行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約の時などに確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に聞き確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	研修や訓練を委員会を通して職員が受けている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	非常伝言ダイヤルなど、契約時にお話をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	職員が周知できるようにMTや資料を確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	全職員が研修を行い適切な対応ができるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	研修を行っているため行う条件などは理解できている。計画にも載せている。	